# ケイミュー「軒天材30」 施工説明書



KMEW

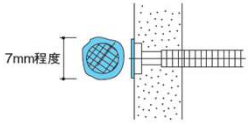
## ■施工上の注意点　※裏面の施工基準・施工のポイントもご確認ください。

**⚠注意　釘打ち時の打込みすぎや角欠け、打痕がつかないようにご注意ください。**

- 留付けは軒天材専用リング釘40を用い留付けてください。
- 釘打ち機使用時は、事前に試し打ちを行い、エアー圧、打ち込み深さの調整を十分に行ってください。
- ハンマー使用時は、先穴をあけ一度に打ち込まないようにしてください。また、本体をたたかないようにご注意ください。
- 陥没した場合や打痕がついた場合は、交換をお願いします。

**⚠注意　現場仕上げ塗料による補修は目立たない様にご注意ください。**

- 現場仕上げ塗料は、切断面取り部や著しく目立つ釘頭の仕上げ用として用意しています。
- 塗布面積が大きくなると外観上目立ちますので、塗布は最小限にとどめてください。（釘頭の場合７mm程度）



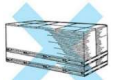

## ■取扱い上の注意点

### 保管・運搬時および取り扱い時の留意事項

- 必ず守る　施工現場では必ず防水シートをかけて保管してください。
- 必ず守る　屋外での保管時はできるだけ堅い平らな場所に置いてください。

- 必ず守る　車両等で運搬する時は平積みにしてください。

- 必ず守る　数量の少ないパレットを下にしないでください。

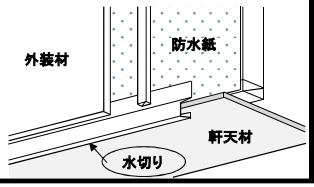


- 必ず守る　持運び時は、軒天材は木端立てにして運んでください。
- 禁止　立てかけ保管はさけてください。

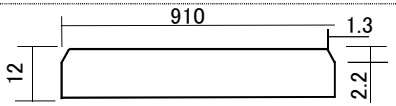
- 禁止　軒天材表面に付着した切断粉の水ぶきはしないでください。
  ※エア除去または乾いたきれいなウェス布・柔らかいブラシなどで十分に取り除いてください。

### 使用部位

- 禁止　軒天井以外の用途（破風、鼻隠し、外壁、ベランダの内壁等）には使用しないでください。
- ⚠注意　バルコニー下等に使用する場合は壁面に水切りを設け、軒天材裏面に水がまわらないようにしてください。




## ■商品仕様

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 本体 | 柄名 | 木目調 | | | | エンボス調 | | | | |
| | 色名 | ベージュ | ブラウン | ブラック | グレー | シルクホワイト | アイボリーブラック | サテンホワイト | シルクグレー | ベルベットブラウン |
| | 品番 | L3Y246 1WK | L3Y246 2WK | L3Y246 3WK | L3Y246 4WK | L3Y247 1WK | L3Y247 2WK | L3Y247 3WK | L3Y247 4WK | L3Y247 5WK |
| | サイズ/重量/材質 | 12×910×3030㎜／約43kg/枚／パルプ系繊維混入けい酸カルシウム化合物板 | | | | | | | | |
| | 断面形状 |  | | | | | | | | |
| 部材 | 軒天材専用リング釘40（袋入）[75本/袋] | B8740 M4108 | B8740 M1504 | B8740 M1736 | B8740 M521 | B8740 M1710 | B8740 M1736 | B8740 M3044 | B8740 M1503 | B8740 M1713 |
| | 軒天材専用リング釘40（プラ連結）[２巻/箱 200本/巻] | B8740 M4108P | B8740 M1504P | B8740 M1736P | B8740 M521P | B8740 M1710P | B8740 M1736P | B8740 M3044P | B8740 M1503P | B8740 M1713P |
| | 直留め用ビス35（薄鉄骨下地用） | B8852135 | | | | | | | | |
| | シーリング（スーパーKMEWシール30） | B8430 4108 | B8430 4109 | B8430 4110 | B8430 2503 | B8430 2491A | B8430 1713 | B8430 3044 | B8430 2503 | B8430 707C |
| | 現場仕上げ塗料（溶剤系1液） | ﾍﾞｰｽ色用/B93HB2 656D ﾄｯﾌﾟｲﾒｰｼﾞ色用/B93HB4 108 | ﾍﾞｰｽ色用/B93HB2 657C ﾄｯﾌﾟｲﾒｰｼﾞ色用/B93HB4 109 | ﾍﾞｰｽ色用/B93HB6 69Y ﾄｯﾌﾟｲﾒｰｼﾞ色用/B93HB4 110 | ﾍﾞｰｽ色用/B93HB2 720 ﾄｯﾌﾟｲﾒｰｼﾞ色用/B93HB 1454（淡）B93HB 3365（濃） | B93HB 2658F | B93HB 669Y | B93HB 3064 | B93HB 2720 | B93HB 707 |
| 換気部材 | 【純正品】軒天材用通気見切り縁 BM2 | B286*N4 | B286*N3 B286*N4 | B286*N1 | B286*N6 | B286*N2 | B286*N1 | B286*N2 | B286*N6 | B286*N5 |
| | | ※「*=1」…発泡材あり 「*=2」…発泡材なし | | | | | | | | |
| | | ・有効開口面積：100㎠/m　（L=1820）<br>・材質：塗装GL鋼板<br>※一般地にのみ使用可（塩害地に使用される場合はお問い合わせください。） | | | | | | | | |

## ■施工基準

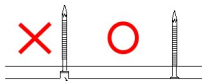
<1> 下地基準

| | | 木製下地 | | 鋼製下地 |
|---|---|---|---|---|
| | | 換気部材なし | 換気部材あり | |
| 野縁組 | 組み方 | 梯子組　平行組は不可 | | 平行組 |
| | 寸法 | 30×40以上 | | CW-25(50×25×0.5)以上 |
| | 軒天目地部 | 60×40以上、または30×40 2本組 | | CW-25　2本組 |
| | 軒の出方向の間隔 | 500mm以下 | | 303mm以下 |
| | 軒の幅方向の間隔 | 455mm以下 | | |
| | 留め付け材 | 釘：φ2.75×長さ50mm以上（現地調達） | | － |
| | | ねじ：φ2.75×長さ50mm以上（現地調達） | | － |
| | 不陸 | 2mm以下同左 | | |
| 吊り木 | 必要条件 | 軒の出が500mmを超える場合、かつ野縁を垂木に留付けない場合必要 | | － |
| | 寸法 | 30×30以上 | | － |
| | 軒の出方向の間隔 | 500mm以下 | | － |
| | 軒の幅方向の間隔 | 1000mm以下 | | － |
| | 留め付け材 | 釘：φ2.75×長さ50mm以上（現地調達） | | － |
| | | ねじ：φ2.75×長さ40mm以上（現地調達） | | － |

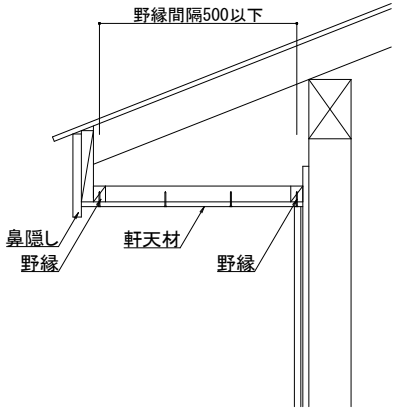
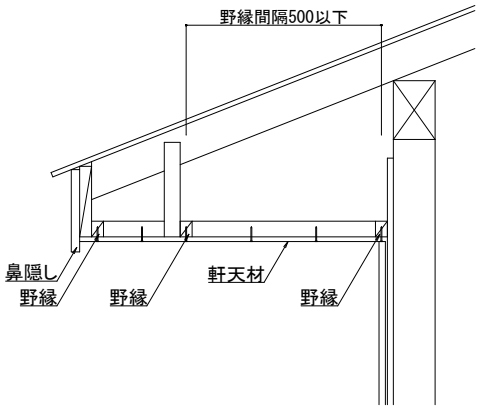
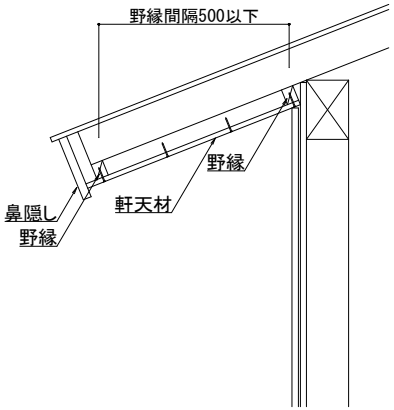
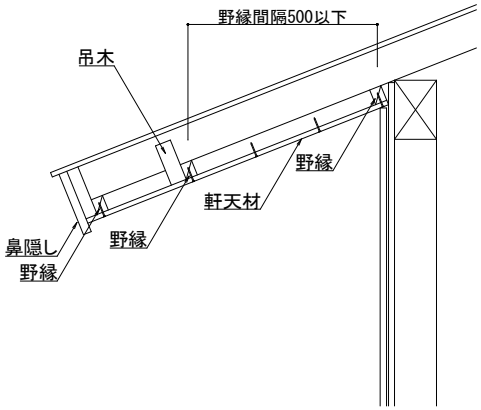
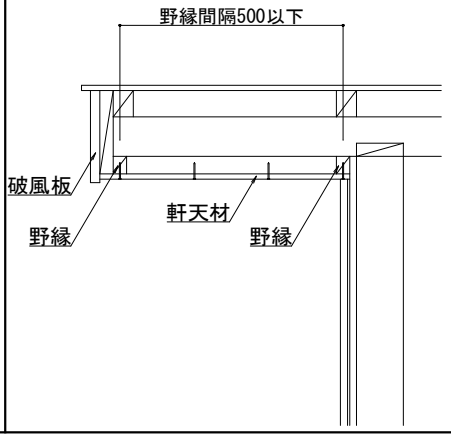
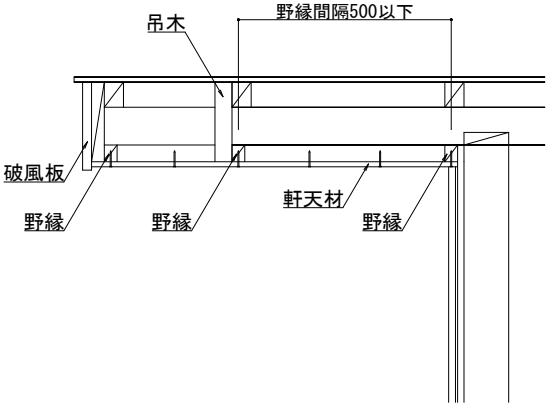
<2> 軒天材施工基準

| | 木製下地 | | 鋼製下地 |
|---|---|---|---|
| | 換気部材なし | 換気部材あり | |
| 留付け部材 | 軒天材専用リング釘　φ2.3×L40　ステンレス製 | | 直留め用ビス35（薄鉄骨下地用）φ4.3×L35<br>ステンレス鋼製 |
| 留付け位置 | 野縁 | | 野縁 |
| 留付け間隔 | 軒の出方向：@230mm以下 | 軒の出方向：@190mm以下 | 野縁毎@303mm以下 |
| | 軒の幅方向：@225mm以下 | 同左 | |
| 端打ち寸法 | 20mm以上 | | 30～40mm |
| 切断面処理 | 切断木口面には必ず専用防水シーラーを塗布<br>防水シーラーは軒天材表面にはみ出さないように塗布 | | |
| 切断突付け部処理 | 面取り後、現場仕上げ塗料にて塗装 | | |
| 留付け部部処理 | 釘頭は必要に応じタッチアップ | | ビス頭はパテ補修後タッチアップ |

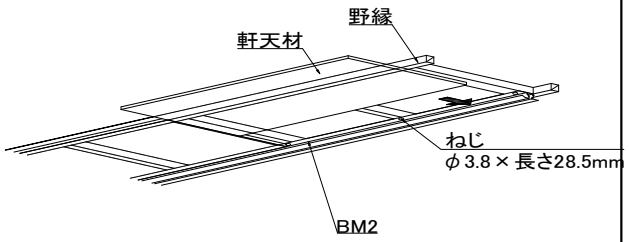
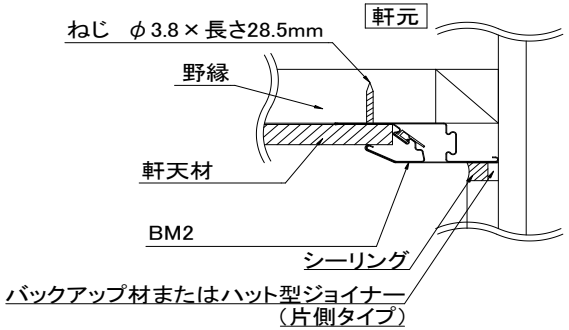
## ■施工のポイント

| | |
|---|---|
| ①下地施工 | ・木製下地の場合は十分乾燥した木材を使用してください。<br>・鋼製下地の場合は下地メーカーの標準施工に準じて施工してください。 |
| ②軒天材の加工 | ・軒天材の切断には、のこ刃は超硬チップソー、防塵フード付き丸のこを使用してください。 |
| ③軒天材の施工 | ・釘打ちにはハンマーや釘打ち機を使用してください。<br>・釘はケイミュー純正釘を使用してください。<br>・上向き作業時は、目にゴミが入らないように保護メガネを着用してください。<br>・リング釘やビスの頭は１mm以上沈めないようにしてください。<br>・鋼製下地の場合は軒天材に先孔をあけ留付けてください。<br>・軒天材の切断部分は原則、露出しないように納めてください。<br>  <br>打ち込み深さは1mm程度まで |
| ④換気部材の施工 | ・詳細は各製品に同梱している施工説明書をご確認ください。 |
| ⑤現場仕上げ | ・雨天時や軒天材表面が濡れている場合、気温５℃以下の場合は塗装を避けてください。<br>・付属の撹拌棒で十分に撹拌してください。現場仕上げ塗料は薄めず、そのまま使用します。<br>・付属のハケを用いて、塗布面積は小さく塗布します。 |
| ⑥安全に関する注意事項 | ・高所作業では正しく足場を組み、作業場を整理してから作業してください。<br>また、必ず落下防止措置をとってから、作業してください。<br>・物干しフック、防犯カメラ、照明器具等を取付ける場合は、野縁等の下地に留付けてください。軒天材に固定した場合、落下する危険性があります。 |

【軒天材の納まり】

| | 軒の出500mm以下 | 軒の出500mm超1000mm以下 |
|---|---|---|
| 水平軒天 |  |  |
| 勾配軒天 |  |  |
| けらば |  |  |

【換気部材の納まり】

| 部材名 | 軒天材用通気見切り縁　BM2（発泡材あり／なし） |
|---|---|
| 施工図 |  |
| 断面図 |  |

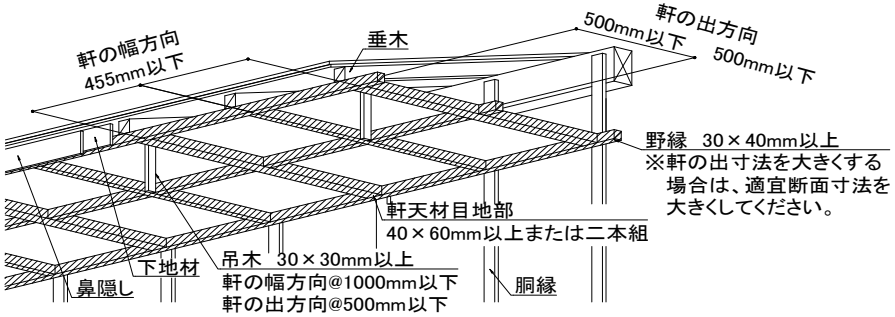
【野縁組】

一般部＿水平軒（軒の出500以上の場合　吊木あり）

軒の出寸法
最小寸法~1000mm以下

最小寸法（mm）

| | |
|---|---|
| 軒天材のみ | 55 |
| BM2使用時 | 88 |

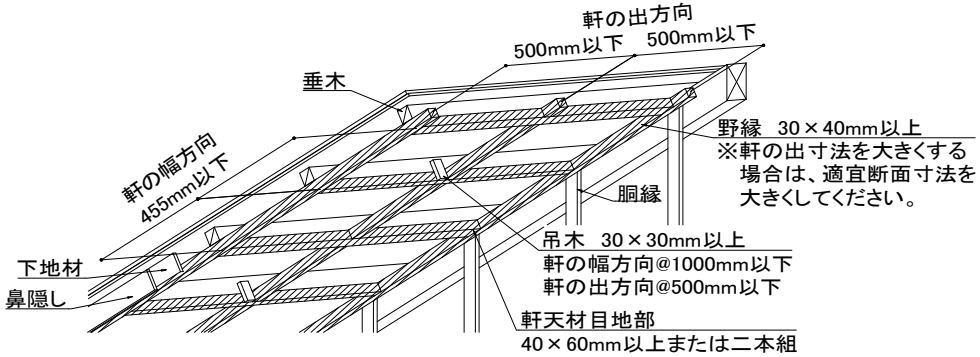



一般部＿勾配軒（軒の出500以上の場合　吊木あり）

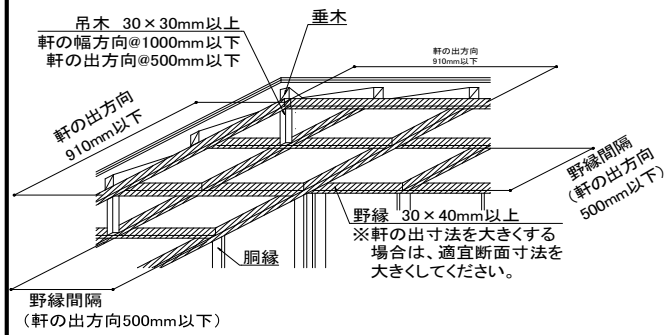
軒の出寸法
最小寸法~1000mm以下

最小寸法（mm）

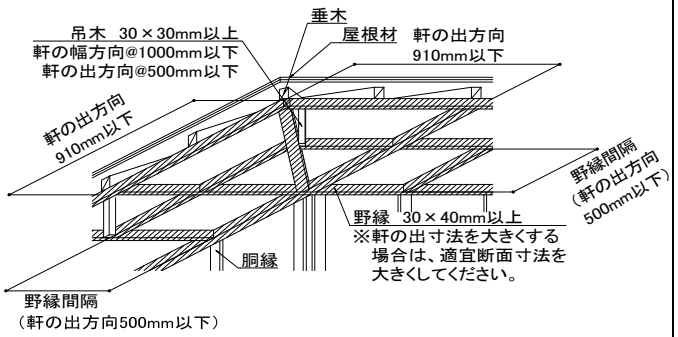
| | |
|---|---|
| 軒天材のみ | 55 |
| BM2使用時 | 88 |




出隅部（出隅を１枚で納める場合）

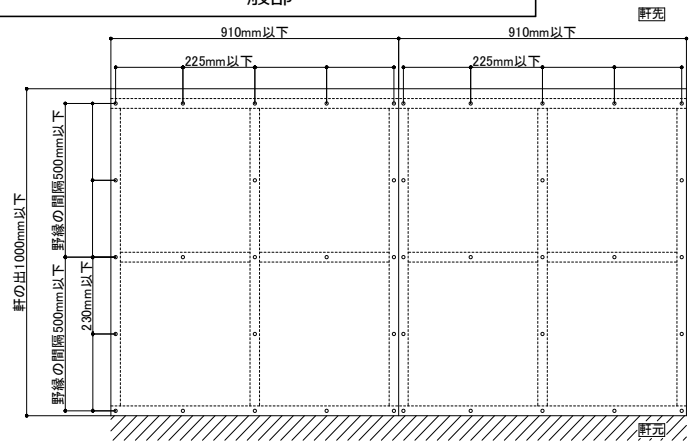



出隅部（出隅を１枚、または突付けで納める場合）

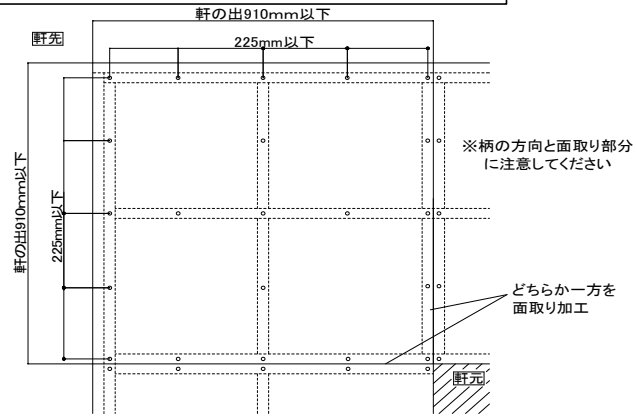



【軒天材の留付け】　　●部：釘留付け位置を示す

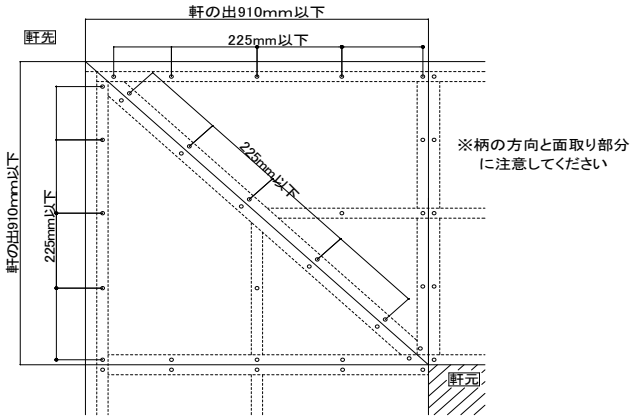
一般部



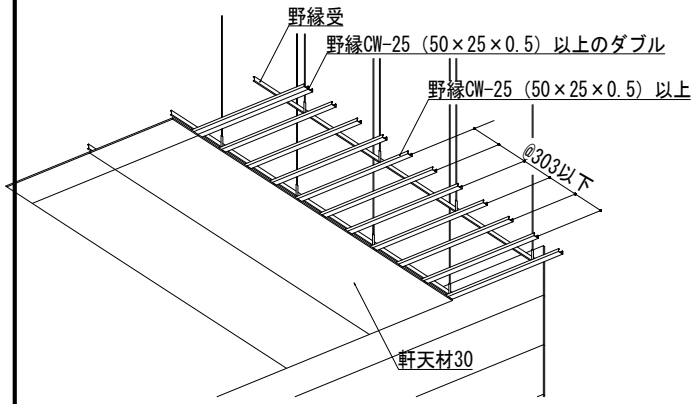

出隅部（出隅を１枚で納める場合）

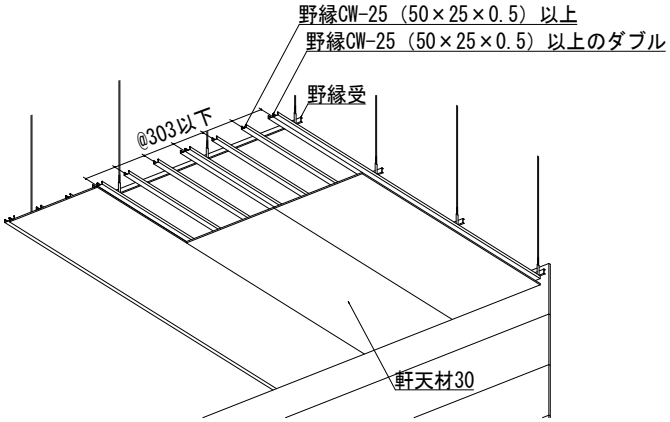


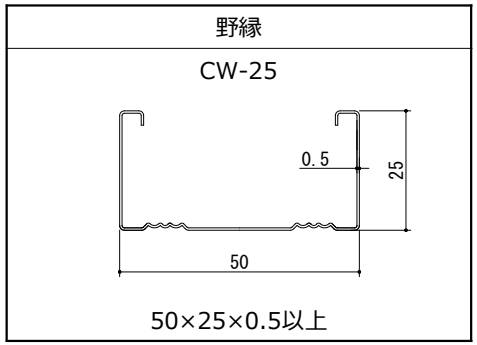

出隅部（出隅を１枚、または突付けで納める場合）



鋼製下地　※準耐火構造認定は取得しておりません。

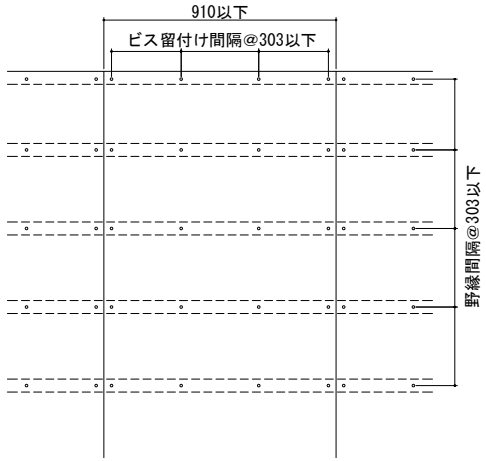


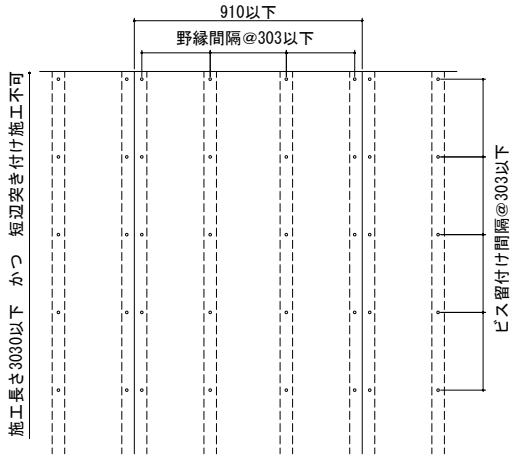



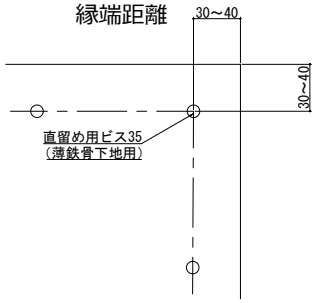



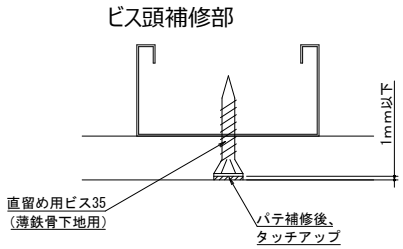

ビス留付け

○部：ビス留付け位置を示す




注意

・ビス頭の補修部は、見る角度や距離、光の加減により目立つことがあります。
　ビス頭の補修箇所は最小限にしてください。
・必ず先孔・座堀をおこなってください。また打ち込み過ぎにはご注意ください。守られなかった場合、軒天材の破損や脱落の原因となるおそれがあります。
・製品には多少の寸法誤差がありますので、現場の状況によっては、目地に隙間ができたりする場合があります。目地のズレを確認・修正しながら張り進めてください。
・高温・高湿となる箇所での施工は避けてください。
・温度差により鋼材下地と軒天材30に寸法変化が起こる可能性があります。
　軒天材30が収縮側に動くと目隙が発生し、伸長側に動くと波が打って見えることがあります。